



紙祖神 岡太神社・大瀧神社について

岡太神社は雄略天皇の御代(457~79)に創建され、この五箇地区に紙漉の業を伝えた女神「川上御前」を紙祖の神として祀り、「延喜式神名帳」(926)にも記載されている古社である。大瀧神社の創建は推古天皇の御代(592~638)大伴連が勧請したのが始まりと伝えられている。養老3年(719)、平泉寺白山神社を開いた泰澄大師は、この地を訪れ、水波能賣神である「川上御前」を守護神として祀り、「国常立尊」・「伊弉諾尊」を主祭神として「十一面観世音菩薩」を本地とする神仏習合の社を創建、大滝児権現と称して別当山大瀧寺を建立した。

中世に入ると白山信仰の拠点の1つとして栄え、境内には七堂伽藍が建ち並び48坊の堂塔、社僧700余名を擁し隆盛を極めた。南北朝の動乱や織田信長の一向一揆討伐などの兵火で度々衰退の危機が訪れるが、その後領主となった丹羽長秀や結城秀康をはじめとする歴代領主の保護により再度復興され、社殿の造営、改修が行われた。

明治時代初頭に発令された神仏分離令により仏式が廃され、大瀧児権現は現在の社号である大瀧神社に改称、昭和3年には県社に列している。

大正12年(1923)には大蔵省印刷局抄紙部に「川上御前」の御分霊が奉祀されて岡太神社は名実共に全国紙業界の

総鎮守となった。このような世の移り変わりにもかかわらず里人らの両社への信仰は篤く、神の御加護のもとに紙漉きの伝統を守り続け今日に至っている。

岡太神社・大瀧神社の社殿がある境内を下宮というのに対し、背後にある権現山は山自体が御神体として信仰されていた山で、山頂付近に大瀧神社や岡太神社本殿、八照神社(八照宮)が並び立つ上宮は「奥の院」と呼ばれている。現在の大瀧神社下宮社殿は天保14年(1843)に再建されたもので、拝殿は入母屋、向拝一唐破造、檜皮葺、本殿は大型一間社流造、檜皮葺、拝殿と本殿が一体化した複合社殿で、山の峰を集めたような、あるいは、幾重もの波が寄せあうような屋根、複雑さの中に流があり、重厚さの中に躍動があるなど、形容のしようがない独特の屋根形状である。建物全体に施されている獅子、龍、鳳凰、草花の彫刻も精緻かつ華麗な秀作とされ、昭和59年(1984)に国指定の重要文化財に指定され、更に平成4年(1992)に神門廻廊等が新たに造営された。

大瀧神社は現在でも神仏習合の名残を残す神社で、神事が行われる一方で式年大祭(本開帳)や御神忌(中間帳)では法華八講など仏式の行事が行われ、木造虚空蔵菩薩像や木造十一面観音坐像といった仏像も所蔵している。

日本の紙幣誕生の地、お札のふるさと越前和紙の里。

イベント情報などは随時ホームページで更新しております。
越前和紙の里



御朱印

初穂料/1枚500円
受付場所/石川製紙株式会社 越前市大滝町11-13
※平日のみ受付

※耳付きの越前和紙にスタンプが押されたものをお渡しします。
※社務所では受け付けておりません。



越前和紙を体感する芸芸宿「SUKU」

1500年にわたり受け継がれてきた越前和紙の伝統と今もなお職人の手仕事息づく越前市今立。「SUKU」は、この地に溶け込む全3室の小さな宿。伝統的な技と現代のデザインが調和した空間で、和紙づくりの精神や手仕事の美しさにもふれる時間をお過ごしいただけます。宿の周辺には今なお40軒近い工房が点在し、まちを歩きながら職人たちの暮らしやものづくりの現場にふれることができます。

福井県越前市岩本町13-4-1
☎0778-78-2107



パピルス館 A

紙すきを実際に行える体験型施設です。自分だけのオリジナル和紙を作ることができ、「和紙処えちぜん」では越前和紙商品のショッピングを楽しめます。

福井県越前市新在家町8-44 ☎0778-42-1363
開館時間/午前9時~午後4時、「和紙処えちぜん」は午後4時30分まで
休館日/毎週火曜(祝日の場合は開館)・年末年始

卯立の芸芸館 B

江戸時代中期の紙すき家屋を移築復元し、伝統工芸士が昔ながらの道具を使って和紙をすく様子など、和紙が作られる一連の工程を見ることが出来ます。

福井県越前市新在家町9-21-2 ☎0778-43-7800
開館時間/午前9時30分~午後5時(紙すき見学は午後4時まで、入館は午後4時30分まで)
休館日/毎週火曜(祝日の場合は開館)・年末年始

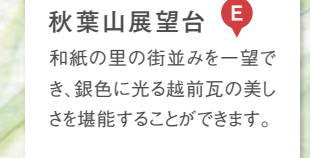
紙の文化博物館 C

越前和紙発祥の伝説や歴史について学ぶことができます。また、重要文化財に指定された紙すき道具類も随時展示しています。

福井県越前市新在家町11-12 ☎0778-42-0016
開館時間/午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日/毎週火曜(祝日の場合は開館)・年末年始

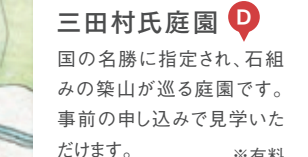
秋葉山展望台 E

和紙の里の街並みを一望でき、銀色に光る越前瓦の美しさを堪能することができます。



三田村氏庭園 D

国の名勝に指定され、石組みの築山が巡る庭園です。事前の申し込みで見学いただけます。



越前和紙の里美術館 G

越前和紙に摺られた東山魁夷の版画作品を多数展示しています。また、「越前生漉奉書紙」を使った現代作家の作品や、越前和紙に関心のあるアーティストの作品を展示しています。

福井県越前市新在家11-13
☎0778-43-5975
開館時間/午前9時30分~午後5時
休館日/毎週火曜(祝日の場合は開館)・年末年始
入館料/600円(高校生以下無料)
共通入館券900円(紙の文化博物館、卯立の芸芸館)

下宮ライトアップ



1年を通して不定期で開催しております。